

下野市公民館運営審議会 議事録 (要旨)

審議会名等 令和6年度第1回公民館運営審議会
日時 令和6年 5月23日(木) 午後1時30分～15時30分
場所 石橋公民館 第1会議室
委員 出席者 中川 賢一、青木 正徳、藤沼 清貴、長 美智子
山中 幸子、市村 栄美子、板垣 博史、北村 優子
小林 溶子、小林 直子、鈴木 祐孝、田中 志保
早瀬 純則
欠席者 菊池 高夫

教育委員会 教育長 石崎 雅也
石橋公民館長 山内 隆匡
国分寺公民館長 近藤 善昭
南河内公民館長 齋藤 光利
南河内東公民館長 大島 浩司
生涯学習推進グループ 課長補佐 猪瀬 貴之
生涯学習推進グループ 主査 大塚 隆邦
生涯学習推進グループ 主査 山中 裕貴
欠席者 生涯学習文化課長 野口 修一

公開・非公開の別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開)

傍聴人 0人

報道機関 0人

議事録(要旨) 作成年月日 令和6年 5月24日

- 1 開会 南河内東公民館長 大島
- 2 委嘱状交付 教育長 石崎 雅也
- 3 教育長あいさつ 石崎 雅也
- 4 委員長、副委員長選出 委員長 中川 賢一、副委員長 板垣 博史
- 5 委員長あいさつ 中川 賢一
- 6 自己紹介 委員、事務局 名簿順
- 7 議事
 - (1) 令和5年度公民館利用状況について
 - (2) 令和5年度公民館評価について
 - (3) 令和6年度公民館事業概要について
 - (4) 令和6年度公民館講座受講申込み状況について
 - (5) 令和6年度公民館年間予定について
- 8 その他
- 9 閉会

7 議事

(1) 令和5年度公民館利用状況について

中川委員長 事務局	審議事項 議事(1)令和5年度公民館利用状況について審議する。 事務局からの説明を求める。 全館ともコロナ前の状況程ではないが、利用者の回復が見られている。 今年度は昨年度よりも利用者が増えると考えている。 議事(1)について委員から事前に提出された質問、意見について説明する。
中川委員長	事務局からの説明について何か質問はないか。 質問にもあるが、昨年度、令和5年度から審議しているが、休館日の開館においては、経費の増額がかなりあることから、今年度、令和6年度の審議会が開館に向け協議をしていきたい。 なお、資料には宇都宮市のみであり、「小山地区定住自立圏」となっているのだから、小山市と野木町の状況を報告してもらいたい。
事務局 中川委員長 全委員	次回第2回審議会では報告する。 他にはあるか。 質問なし。

(2) 令和5年度公民館評価について

中川委員長 事務局	次に議事(2)令和5年度公民館評価について審議する。 事務局からの説明を求める。 新任の委員もいることから、評価方法について説明する。 議事(2)「令和5年度公民館評価について」委員から事前に提出された質問、意見について説明する。
中川委員長 板橋委員	事務局からの説明について何か質問はないか。 「公民館振興計画(第二次)」には評価の種類として、「実績・成果(目標)」となっており、評価マニュアルは「実績」と「成果(目標)」が別の項目となっている。私見であるが、「実績」と「成果」はあまり大きな違いは無いようにも受け止められる。実際、「成果(目標)」に次年度の目標的な事柄しか見受けられない状況もある。修正等の検討はできないか。
事務局	公民館振興計画で「実績・成果(目標)」とした理由は「実績」はその項目の事実(結果)であり、「成果(目標)」はその事実から導き出されるもので、「目標」につながるものとして明記したものである。 現状において、「計画」は令和3～7年度の5か年であり、教育委員会等において承認済みであるため、修正等は令和7年度に作成する「公民館振興計画(第三次)」において、委員のご意見をいただきながら検討していきたい。
中川委員長 全委員	それでいいか。 了承。

(3) 令和6年度公民館事業概要について

中川委員長	議事(3) 令和6年度公民館事業概要について審議する。
事務局	事務局からの説明を求める。
中川委員長	説明
各委員	事務局からの説明について何か質問はないか。 各委員からご意見をいただきたい。
事務局	現状、全戸加入している自治会もあるが、自治会加入割合は市世帯数全体の60%ほどと聞いている。また、配布物を受け取らない世帯もある。「生涯学習情報誌エール」はこの現状の中、本当に紙ベースのものが必要なのか。配布状況や受講申し込み方法はどうか。 現在は「エール」を自治会加入世帯に配布している。また、市民並びに市外の人にも対応できるよう市ホームページにも掲載している。 申し込み方法であるが、「エール」内のはがき、公民館への直接メール、市ホームページ内の申し込みフォームの3種類の方法がある。また、「エール」やホームページにはQRコードを掲載しており、スマホからの申し込みも可能となっている。 ただし、高齢者はパソコンやスマホの使い方はまだ不慣れの人が多く、ハガキで申し込みをする人は半数ほどにのぼる。 「エール」を広報と同様に、コンビニ等に置いてはどうか。 今後、いろいろな方法を検討してはどうか。 なければ議事(3)を終了する。
早川委員	
中川委員長	

(4) 令和6年度公民館講座受講状況について

中川委員長	議事(4) 令和5年度公民館講座受講申し込み状況について審議する。
事務局	事務局からの説明を求める。
中川委員長	説明
鈴木委員	事務局からの説明について何か質問はないか。 申し込みが少ない講座、とくに「まちづくり入門講座」が少ないが、増やす工夫はできないか。どのような状況か。
事務局	鈴木委員が言う講座は南河内公民館講座「まちづくりの役割」だと思うが、令和6年度からページ数削減のため、説明内容文や挿絵の削減を行ったことにより、講座名の重要性が増したことを痛感している。次年度以降は講座名の命名に気を配りたい。
早瀬委員	まちづくり入門講座の多くが低調であるのは、多くの人が自分のこととは考えず、市が行ってくれればよいと思っているからだと思う。
鈴木委員	講座の実施を平日の日中ではなく、夜間や土、日曜日に実施すれば、受講者数も伸びるのではないか。
事務局	令和6年度もまちづくり入門講座の多くは土、日曜日の実施で、現状のとおりである。また、以前も同様に土、日曜日や平日夜間に実施したことがあるが、低調だった。受講者の多くは高齢者中心であり、会社勤務の人は、土、日曜日は休日のため、家族と過ごしたり、家の用事をする人が多いのではないかと考えている。 このような現状から、平日の日中、高齢者対象のような講座が多くなっている。
中川委員長	今後、講座の受講者を増やす方法はあるか。
事務局	講座がどうかというよりも、公民館では何をしているのかを周知していくことが重要と考えている。
中川委員長	他に質問等はあるか。 なければ議事(4)を終了する。

(5) 令和6年度公民館関係年間予定について

中川委員長	議事(5) 令和6年度公民館年間予定について審議する。
事務局	事務局からの説明を求める。
中川委員長	説明。
全委員	質問等はあるか。
中川委員長	なし
鈴木委員	議事の審議は終了したが、委員から他に質問等はないか。
事務局	審議において、「エール」の配布、休館日の問題等いろいろ審議したが、今後も意見を出し合って、公民館運営審議会としてまとめて行く必要がある。
中川委員長	今後も委員に意見をもらい、公民館運営に役立てていきたい。 事務局からのお願いであるが、本日、選出される社会教育委員、生涯学習協議会委員からも公民館運営審議会の意見を報告していただきたい。
中川委員長	質問等はあるか。 なければすべての議事を終了する。

8 その他

事務局	外部依頼推薦委員の選出 下野市社会教育委員 小林 直子委員 下野市生涯学習推進協議会委員 北村 優子委員 第2回審議会は7月下旬を予定している。 決定次第、追って通知をする。
-----	---

9 閉会